

農林水産省は25日、水田でコメや麦などをつくる水田作農家の06年の経営状況調査をまとめた。

農家の平均総所得は前年比2.3%減の487万円だった。所得の半分以上が農業所得の「主業農家」(北海道除く)の平均総所得は、同6.6%減の437万円だった。ともに、コメの生産量減少や価格低下が減収要因となったが、規模の大きい主業農家の方が燃料費高騰の影響を受け、減収幅が大きくなった。

北海道の主業農家の平均総所得は同1.1%増の670万円。北海道米の価格が上がったことや麦の収量が増えたため。

調査は、2279世帯を対象に行った。

「偽」の年の締めくくりに

右は、12月25日のアサヒ・コムの画面。朝日新聞のインターネット版で、水田農家の平均所得は487万円と報じています。目を疑いました。

今年の秋、米の生産者価格は農協だと1俵1万円ほど。反収8俵で計算すると、480万円は6町歩分もの販売額に相当します。ここから経費を差し引いた数字が「所得」で、それが平均487万円って、ゼッタイありえねえ!

とにかく、インターネットでの配信はそれがすべてでした。翌朝、新聞紙面で下のようなベタ記事を見つけました。

本文はネットと同じだけど、表が添付されていました。この表によると、じつは農外所得や年金が448万円で、農業所得は38万円だけという中身です。

表のあるなしで記事の中身がちがってきて、実態の伝わり方だって全く別なものになってしまいます。最近、新聞を

購読しないで、ネットだけでニュースを読む人も増えているそうですが……。

いっぽう、新聞だって眉ツバです。記事を読んで、年金を毎月37万円ずつもらい、片手間に農業をやって年間38万円を稼いでいる農家の父ちゃん像を思い浮かべたりするかもしれません。なんだかんだ言っても農家は優雅でいいなあとかやっかんでみたり……。

そんな読者がいれば、まんまと記事のたくらみは成功だな。

「農家の平均所得」となっていて何の説明もないのがミソで、報じられた金額は一家全員の所得の合計なのだと思います。つまり、日曜や

朝晩には田んぼ仕事をしながら、平日は父ちゃんも母ちゃんも息子も、もしかすると嫁さんも勤めに出て稼いで、その合計所得が480万円。だから、みんな月給10万円くらいのパート労働なのかもしれません。

さらに今年は前述のような米価で、生産農家はほとんどが赤字だと思えます。38万円とはいえ所得を上げている農家が平均の姿とは、現場からは想像ができません。農水省の調査とやらが、どんな中身なのかも確かめてみたいところです。

というわけで、賞味期限や年金や防衛省だけにとどまらず、世の中、きちんと見極めたいものです。

水田農家の収入状況		農家平均	主業農家 (北海道除く)
農業	粗収入	181(▼2.4)	752(▼0.4)
経費	費	143(▼0.5)	460(▲4.8)
農業	所得	38(▼9.0)	292(▼7.6)
農業外	年金などの収入	448(▼1.7)	144(▼4.4)
総	所得	487(▼2.3)	437(▼6.6)

単位:万円。カッコ内は前年比の増減率。▼はマイナス。主業農家は、広い農地を耕作する「担い手農家」を対象に行った。調査は、2279世帯

水田農家所得
2.3%減額万円
06年、農水省まとめ
農林水産省は25日、水田でコメや麦などをつくる水田作農家の06年の経営状況調査をまとめた。農家の平均総所得は前年比2.3%減の487万円だった。所得の半分以上が農業所得の「主業農家」(北海道除く)の平均総所得は、同6.6%減の437万円だった。ともに、コメの生産量減少や価格低下が減収要因となったが、規模の大きい主業農家の方が燃料費高騰の影響を受け、減収幅が大きくなった。

「うぶん」をめぐる点と線

連載③

右の写真は、大津港を東側の崖の上から眺めた風景です。けっこう危険な場所からで、北茨城市民でもあまり見たことはないんじゃないかなあ。新しい防波堤が作られたり、港内の海面が仕切られたりと、大きな工事もおこなわれています。

この時点では「うぶん」との関連

などは思いもよりませんでした。

が、ひょんなことから、ライトアップ原因説は否定され、それどころかライトアップがニツ島の立木を守っているのではないかという仮説に到達したのです。

え〜と、新聞などは鶏呑みにしてはいけなことを長々と上に書きま



した。で、完結を予告した当連載ですが、どうにも紙面が足りず、年を越します。面目ない(^^);

